

大村璋子さんと

子どもの遊び場づくりの35年

大村璋子さん、日本の冒険遊び場をはじめとする子どもの遊び場づくりの先駆者であり、まさにこの世界の「お母さん」とも呼ぶべき彼女が、昨年12月23日に永久の眠りにつきました。

璋子さんが夫 虔一さんと冒険遊び場づくりをはじめたのは1975年。ヨーロッパの冒険遊び場づくりを知り、実際に現地を訪ね日本の子どもたちにもぜひ必要だという強い思いからでした。1979年にはIPA（子どもの遊ぶ権利のための国際協会）日本支部を立ち上げ、その初代代表として、世界の遊び場づくりの動向を日本に知らせ、また日本の様子を世界に発信しました。

璋子さんは自らを「遊び環境デザイナー」と称し、近所のお母さんや若者たちみんなを遊び場づくりに巻き込むことをすすめ、常に自然と触れあう子どもたちの取り組みに関心をもっていました。

いつも斬新な発想とおちゃめな話ぶりとおステキな笑顔で、私たちに不思議な力を与えてくださった璋子さん。そんな璋子さんを失った悲しみはあまりに深く大きいのですが、この度、改めて彼女の偉業を讃え、その意志を受け継いでいくための会を催すことと致しました。

璋子さんをご存じの方はもちろんのこと、子どもの遊び場づくりに関心をお持ちの方は是非ともご参集いただき、大村璋子さんと日本の遊び場づくりのこれまでとこれからについて、ともに語り合うことをお誘い申し上げます。

日時：2009年3月8日(日)14~17時（開場13:30）


会場：同志社女子大学ジェームズ館2階 207号室

京都市上京区今出川通寺町西入（京都御所北側）<http://www.dwc.doshisha.ac.jp/access/access02.html>
地下鉄烏丸線今出川駅3番出口から東へ徒歩5分、京阪電車出町柳駅から西へ徒歩10分

参加費：一般2,000円 学生500円

問合せ：IPA日本支部事務局 syoko-35years@ipa-japan.org TEL.072-266-3013 FAX.072-266-3012

主催： IPA日本支部（子どもの遊ぶ権利のための国際協会）

協力： NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会

後援：神戸女子大学家政学部梶木研究室、NPO 法人子ども&まちネット、NPO 法人こどもNPO、
(50音順) こども環境学会、佐賀冒険遊び場の会、天竺のはらっぱであそぼう会、てんぱくプレーパークの会、同志社女子大学現代こども学科、にしのみや遊び場つくろう会、PSN（プレイグラウンド・セーフティ・ネットワーク）財団法人プレイスクール協会、プレーパーク赤とんぼ、NPO 法人プレーパークせたがや、NPO 法人冒険あそび場 - せんだい・みやぎネットワーク、冒険遊び場「ちょっとパン」をつくる会、都島プレーパークの会、みんなで遊び場つくろう会、もり zoo プレーパーク/もり zoo プロジェクト